

V章 調査研究・学会発表実績

1 その他の調査研究事業

令和7年度

学会等の名称	題目・論旨（担当課名）	著者名 （発表者名）等
第71回 大分県公衆衛生学会	題目：希死念慮等がある10代への支援の方向性を考える ～愛着障害・生きづらさの視点から～ 論旨：小中高生の自殺者数が増加傾向にあることから、A保健所への相談に繋がった10代の自傷行為・希死念慮・自殺企図歴の特徴を分析し、支援の方向性を考察。その結果、企図等に及ぶ10代の背景には「愛着障害」や「生きづらさ」があることが示唆された。 （地域保健課）	○ 東 優花 石原 沙津季 阿南 恵理香 内田 弘子 小野 重遠
	題目：児童福祉施設指導監査（給食関係）から見えた課題の分析 ～不足しやすい栄養素が補える献立改善に向けて～ 論旨：児童福祉施設指導監査の結果を整理し共通課題を明確化した。さらに課題から見えた不足しやすい栄養素について給食施設状況報告書のデータを活用し分析を行った。その結果、給食施設の献立改善の提案及び研修会の開催につながった。研修会では各施設が不足しやすい栄養素を補うための献立の工夫を集約し、給食施設に還元した。 （地域保健課）	○ 佐藤 有紗 世古 なぎ 内田 弘子 小野 重遠
	題目：市の外国人相談機関と協同した外国人住民の医薬品アクセス改善に向けた実践報告 ～外国人住民が利用しやすい薬局・ドラッグストア普及事業～ 論旨：薬局・ドラッグストアでの外国人住民の対応の実態把握、医薬品販売関係従事者に対する外国人住民対応に関する講習会の実施に加え、外国人住民が母国で使用しているOTC医薬品等の情報を整理し、日本の薬剤師・登録販売者が医薬品購入の相談を受けた際、外国人とのコミュニケーションを円滑に行うためのツール作成を目的とした事業の取組経過を紹介した。 （衛生課）	○ 橋本 啓一 河村 聡志 本多 祥宏
	題目：保健所・市と病院の看護職相互交流による地域連携促進の効果～在宅医療介護連携・ACPの推進、重症化予防に向けた意義～ 論旨：保健所、市の保健師が交流事業を体験したこと、新たに保健所が体験を受け入れたことにより、双方が学びを深め、住民のニーズ、健康課題等を踏まえた地域連携促進に寄与した。そこで、今回の取組が在宅医療介護連携・ACPの推進、重症化予防等に与える効果と、より効果的に実施するための要点を考察した （地域保健課）	○ 鳴海 有紀子 阿南 恵理香 内田 弘子 小野 重遠
	題目：保健所保健師の関わりによる愛育班活動への波及～「班員の意欲」と「保健師の資質」工場への相乗効果～ 論旨：保健所保健師の分班長研修会開催と地区活動参加により、班員からの自発的な指示等の前向きな言動の変化が見られた。また、地区活動に参加した新任保健師についても、参加を通じて、地区組織や支援者としての保健師の役割の理解等につながっていた。したがって、「班員の意欲」と「保健師の資質」向上への相乗効果が明らかとなった。 （地域保健課）	○ 一宮 朱里 鳴海 有紀子 内田 弘子 小野 重遠

(続き)

学会等の名称	題目・論旨（担当課名）	著 者 名 （発表者名）等
令和7年度 食品衛生監視員・と畜 食鳥検査員・狂犬病予 防員研究発表会	題目：管内で発生したカンピロバクター食中毒事件及び疑い事例を受けた食中毒予防啓発に向けての検討事項 論旨：管内で発生したカンピロバクター食中毒事例と疑い事例を分析した。鶏肉の生食文化、加熱不足のリスク、地域特有の食習慣を背景に、医療機関との連携強化や、若年層にターゲットを絞った予防啓発の必要性を提言した。 (衛生課)	○ 山本 崇太郎 河村 聡志 白石 桃子 鷺野 美希 橋本 啓一 野田 志織 橋本 育子 本多 祥宏
第89回 日本公衆衛生学会総会	題目：管内の外国人住民の医薬品購入の実態に関する調査報告 論旨：管内で急増する外国人住民の医薬品アクセスと薬局・ドラッグストアにおける医薬品の情報提供方法の検討に資するため、外国人住民の医薬品購入実態調査を実施した。母国からの医薬品の持参状況や購入時の困難な事項などを明らかにし、今後の対応を考察した。 (衛生課)	○ 橋本 啓一
第14回 日本公衆衛生看護学会 学術集会	題目：保健所保健師の関わりによる愛育班員の活動意欲への波及効果 論旨：保健所保健師の分班長研修会開催により、班員自身が地域貢献を実感できた。また、保健所保健師の地区活動参加により、班員からの自発的な教示等、前向きな言動の変化が見られた。上記の保健所保健師の関わりにより、班員の活動意欲向上に波及した。 (地域保健課)	○ 一宮 朱里 鳴海 有紀子 内田 弘子
令和7年度環境衛生 監視員等事例研究発表会	題目：北部管内の環境苦情対応等について 論旨：自身の環境苦情対応経験を通じ、粘り強い指導と関係構築の重要性を述べるとともに、苦情の対応方法等を発表をとおして共有をはかった。 (衛生課)	○ 岩崎 慎
令和7年度 宇佐・豊後高田地域 看護研究発表会	題目：保健所・市と病院の看護職相互交流による地域連携促進の効果～在宅医療介護連携・ACPの推進、重症化予防の取組に向けた意義～ 論旨：保健所、市の保健師が交流事業を体験したこと、新たに保健所が体験を受け入れたことにより、双方が学びを深め、住民のニーズ、健康課題等を踏まえた地域連携促進に寄与した。そこで、今回の取組が在宅医療介護連携・ACPの推進、重症化予防等に与える効果と、より効果的に実施するための要点を考察した。 (地域保健課)	○ 鳴海 有紀子 阿南 恵理香 内田 弘子 小野 重遠
	題目：神経系難病患者が望む在宅生活に向けた意思決定支援～保健所保健師の役割について～ 論旨：保健所保健師は、難病患者と家族が望む在宅生活を実現できるよう、関係機関と連携しながら支援を行っている。保健所保健師が支援した神経系難病患者の事例において、意思決定支援の視点から振り返り、同保健師の役割を考察した。 (地域保健課)	○ 平林 咲 東 優花 山口 花菜 伊藤 彩夏 阿南 恵理香 内田 弘子 小野 重遠
中毒研究 日本中毒学会機関紙 39：21-27, 2026	題目：青少年のオーバードーズ回避に向けた薬剤師のかかわり 論旨：近年、青少年における一般用医薬品（市販薬、OTC医薬品）の過量摂取によるオーバードーズが深刻化している。行政薬剤師、臨床薬剤師の経験から薬物乱用防止教室や医薬品販売規制などオーバードーズ予防に関する薬剤師の専門性を活かした取り組みと管内の児童・生徒に対する薬物乱用に関する調査結果について紹介した。 (衛生課)	○ 河村 聡志
全国いきいき 公衆衛生の会 サマーセミナー in久留米	題目：事業所等との連携による外国出生肺結核患者の発病予防・早期発見・治療継続に向けた取組 論旨：A保健所管内では特に外国出生肺結核患者が多く、支援においては言語の壁、就労と確実な治療の両立など様々な課題がある。そこで昨年度から受入事業所・監理団体・登録支援機関等との連携に力を入れた支援に取り組んでおり、事業所等との連携による治療完遂に向けた取組について紹介した。 (地域保健課)	○ 伊藤 彩夏
結核・肺疾患予防の ための複十字 No. 425	題目：大分県北部保健所管内の事業所との連携による外国出生結核患者への結核対策 論旨：北部保健所管内でも増加傾向にある外国出生肺結核患者への支援を行う中で、「言語の壁」「治療により、本来の在留目的に影響が出る」「就業と治療の両立が難しい」など様々な課題が見受けられた。これらの課題を踏まえ適切な治療完遂に向けて、受入事業所・監理団体・登録支援機関等との連携を重視した支援に取り組んだため、その活動を報告した。 (地域保健課)	○ 伊藤 彩夏 石原 沙津季 阿南 恵理香 内田 弘子 小野 重遠